

平成31年度は、「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度となります。平成27年度より、「産業が力強く成長するまち」、「結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち」、「市民の活力と賑わいにあふれるまち」、「地域力が暮らしを支えるまち」の4つの基本目標を設定し、各種施策を推進してきました。その主な成果として、全区画が完了した「茂原にはる工業団地」では、現在、立地企業の工場建設が進められ、新たな雇用場が確保される見込みであり、また、「産前産後サポートセンターの開設」では、妊娠から出産、産後までの切れ目のない母子支援を実現できました。

今後も、「総合戦略」や「第6次3か年実施計画」に位置付けた各種の取り組みを「大胆に・着実に」展開し、「すべての市民が住んで良かったと思えるまち茂原」の実現を目指していきます。

平成31年度当初予算編成

歳入については、個人市民税や償却資産に係る固定資産税の減額により、市税全体で減収が見込まれる一方で、このことに伴う地方交付税の増額が想定されます。

歳出については、義務的経費である障害福祉費や児童扶養手当などの扶助費や、富士見中学校大規模改造工事、学校給食センター再整備等事業、

長清水水門ポンプ整備等に係る内水対策関連事業、(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ事業負担金などの投資的経費の増加が見込まれます。

このような中で、公共施設の老朽化対策、地方創生実現に向けた取り組みなど、将来を見据えた財政需要にも対応していくことが求められており、引き続き厳しい財政運営を強いられるものと考えています。

予算編成にあたっては、各事業の投資効果や緊急性を十分勘案し、「最少の経費で最大の効果をあげる」という財政運営の基本理念に基づいて、事業の「選択と集中」により、効率的な予算配分に努めました。

【用語解説】

歳出

総務費	市役所の全般的な経費
民生費	社会福祉・児童福祉などの経費
衛生費	保健福祉・ごみ処理などの経費
農林水産業費	農業・畜産業・林業などの経費
商工費	商工業や観光の振興などの経費
土木費	道路・公園・橋・河川の整備などの経費
消防費	消防や救急活動などへの負担金
教育費	小中学校・幼稚園・図書館などの経費
公債費	借入金の返済金
その他歳出	議会等の経費、台風被害等による災害復旧事業

